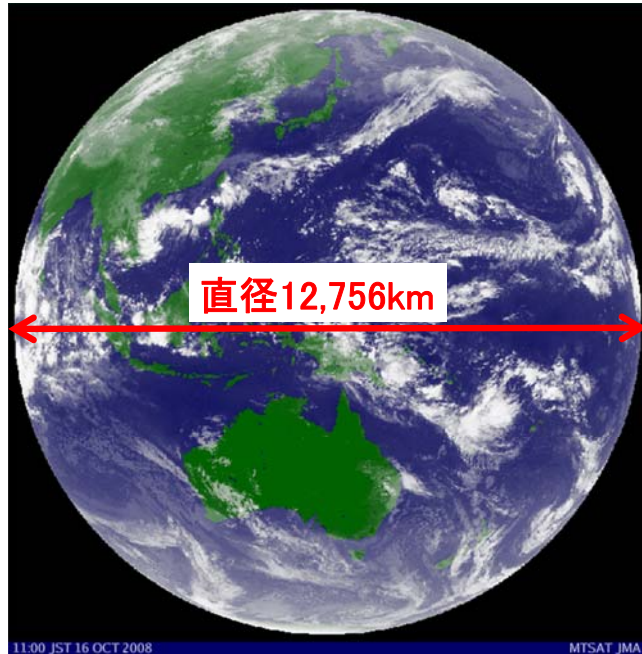


地域環境の保全とエネルギー 第14回 「環境共生のための生活デザイン」

建築学科 渡辺浩文



大気圏(対流圏)厚さ
10~15km

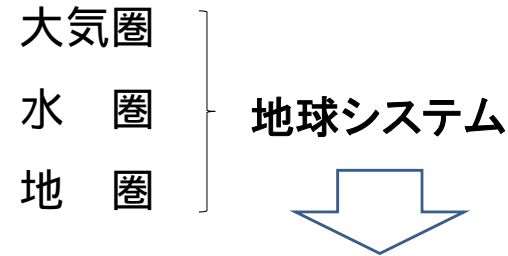
地圏(資源利用)
水圏(海溝) 深さ
10km

合計約20km



地球直径の
約1/600の部分
で生物の多くは
生存

これまでたくさんのことを勉強してきました



かつて人間は地球システムの一部だった

現代では、人間は地球システムに
強い影響を与える存在になった

地球システム(の変化)は
人間にとって強い脅威でもある

「環境共生の生活デザイン」とは...

人間活動が地球システムに影響を
及ぼしているとの認識に基づき、
自らの行動を制御し、自らが地球を
構成する一要素であるとの自覚を
持って生きること (渡辺の定義)

では、どう生きるか...？

・ (産業革命以前の)昔のやり方に戻る

→ 風雪に耐えた古来からの知恵こそ、
持続可能な生活様式である

→ **but** 都市人口率70%の現実は？

・ 科学技術を益々発展させる

→ 人類は科学技術の弛まざる発展により
持続してきた

→ **but** 自然災害・原発事故をはじめとする
科学技術の非先見性は？

5/8

要するに、

「簡単ではない」

6/8

では、どうしたらよいのか...？

・ 調べ考え続けること

・ まずは実践すること

・ 勇気をもって止めること

7/8

創意工夫

カーボンフットプリント

試行錯誤

PDCAサイクル

3E Trilemma

Economy, Energy and Environment

LOHAS

Lifestyles Of Health And Sustainability

8/8